

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院形成外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2018年6月1日 ～ 2025年5月31日の間に、下腿静脈性潰瘍 のために虎の門病院形成外科に入院・通院し、治療・処置名 を受けられた方

【研究課題名】

下肢静脈性潰瘍症例に対する治療

【研究の目的・背景】

《目的》

下肢の静脈性潰瘍（C6）症例に対する治療について後方視的観察を行い、治療結果、潰瘍再発の状況等を明らかにすることで今後の静脈性潰瘍治療の向上に寄与する。

《研究に至る背景》

下肢の静脈性潰瘍は難治性のものが多く治療は圧迫療法と慢性静脈不全に対する手術療法が基本であるが、治療方法についてはさまざまな議論がある。今回当科で経験した下肢の下腿静脈性潰瘍（C6）症例に対する治療の後方視的観察を行い、治療法の選択、予後について検討し、今後の静脈性潰瘍治療の向上に寄与する。

【研究期間】

2025年6月20日 ～ 2026年3月31日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院形成外科 において研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院外へ提供する場合】

診療情報は虎の門病院以外の機関に提供することはありません。

【利用する診療情報】

診療情報： 検査データ、診療記録、生理検査データ（超音波検査、APG、心電図等）、MRI
画像データ、CT データ、薬歴、看護記録など

【研究代表者】

虎の門病院 ・ 形成外科 ・ 江口智明

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

形成外科 ・ 江口智明

研究機関の長：院長 門脇 孝

【利用する者の範囲】

共同研究機関なし

測定機関なし

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、 2025 年 10 月 31 日 までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 形成外科 ・ 江口智明

電話 03-3588-1111(代表)